

Sibata Orange Press

令和3年12月25日号

発行所 / (有)アミックス  
〒957-0018 新発田市緑町 2-6-45-7 号棟  
tel 0254-20-7841 fax 0254-20-7851 http://sop-web.com



「しばた」  
を知って楽しみ、  
「新しいしばた」  
の町をつくる新聞

原料はすべて  
自然由来です

高橋農園の  
手作りジャム

600円税別  
●ブルーベリー  
●りんご ●桃

高橋農園  
(新発田市橋山1314)  
TEL.0254-29-2287  
http://takahashinouen.com/

しばた健康ファーム 検索



桜が咲き、夏雲が湧き、炭焼き小屋の煙がたなびき、雪が積もる。雨があがった後の、むせかえるような緑を背にして虫取り網を抱えた子どもが二人、甲離れた家から街からの便りを届ける郵便配達人。夕陽が沈み、もうすぐ日没という間、ほんの数分あるいは一瞬の今を捉えた、燃えるような紅色…。

それらを、100色以上の洋紙を指でち

ぎって貼る「はり絵」によって造る画業。その技術は10年余りかけて自ら生み出したもので、独特な感動の色彩世界を表現する。唯一無二のはり絵画家になるまで

内田正泰は、1972年神奈川県横浜須賀野市に生まれた。幼い頃から絵を描くことが得意で、小学校6年生のときは、図画が苦手な担任教諭に代わって級友50人に水彩画などを教えたこともあるという。横浜高等学校を卒業後、海軍航空隊に入隊するも、上官に「向いていない」と辞めさせられ、まもなく1945年終戦を迎えた。

1963年、31歳で現在のカネボウ食品(旧ワタナベ製菓)に入社し、PR課に勤務。退社後は、1966年アド・アートデザイン研究所を設立し、さまざまなデザインを手がけた。1974年、インスタントのイメージを払拭した永谷園「あさげ」「ゆう

記憶の中の自然と  
生かされている人間の営み

感動を受けた四季折々の自然を「はり絵」で表現し続けて半世紀以上。その数約900点余り…。97歳まで生涯現役を買き通した「はり絵」画家が魅せる、美しき風景たち。「光と風の詩」は、はり絵画家内田正泰展を来年2025年1月23日(日)まで、氏の生誕100年を記念し、落谷虹児記念館で開催中だ。

自身の記憶が呼び起こす  
感動の原風景

落谷虹児記念館  
開催中!

## 美しい日本の風景を 子供たちに伝えたい

はり絵画家  
内田正泰

洋紙のはり絵に出会い、日本の美を追求した人生

内田は後半生を過ごすことになる横浜・鎌倉では、関東を中心に日本全国を精力的に行動して色彩豊かな作品を描く一方、自身で色柄を塗って既成の洋紙にはないディテールの紙を生み出した。それをハサミではなく、指で巧みに切り取り、台紙に貼り付ける内田ならではの新技法の開発に取り組みながら、10年余りを経て21世紀初頭にはり絵の世界に頭角を現す。

その後の活躍は目覚ましく、はり絵の第一人者として生涯をかけて日本の美しい自然を後世に伝える使命を全うしたのである。

はり絵を通して地球環境を思う、  
内田正泰が残した言葉

「自然は嘘をつくりませぬ。全てが真実で

朝一杯の思いや  
あさげ

昭和のヒット商品  
「あさげ」のパッケージ

水郷うらら  
©Uchida Masayasu

**内田正泰**  
(うちだまさやす)  
1922年6月2日、神奈川県生まれ。97歳で死去。

◆洋紙をちぎって貼り重ねていく独特の技法で「日本の原風景」を表現。鮮やかな色彩と大胆な構図、微妙なグラデーション手法は浮世絵の精神を感じさせ、どこか懐かしく、見る者の心に詩情を呼び起こす。

©uchida Masayasu

「光と風の詩」  
生誕100年記念「四季の彩冬・春編」  
はり絵画家 内田正泰 展

後期 / 2022年1月23日(日)まで  
会場 / 落谷虹児記念館 1階  
入館料 / 一般・大学生510円  
(20名以上410円)  
休館日 / 月曜・年末12/29(※)、年始1/3(月)まで

## コラム

安兵衛誕生 350年

12月14日は赤穂浪士の討入の日だった。でも、若い人にとってはチンパンカンパンだろう。講談や浪曲が全盛の頃ならいざ知らず、今はインターネットの時代。仕方ないのかなと感じている。しかし、そんな中でも堀部安兵衛の顕彰団体「武庫会(たけつねかい)」は意気軒昂だ。今年には安兵衛が新発田で生を受けてから350年、それを記念して冒澤信明先生の論文集「実録 堀部安兵衛」と、子どもたちに安兵衛に親しんでもらいたいとして漫画「熱血 堀部安兵衛物語」を出版した。前者は討入の影の主役として新発田藩切梅分家出身の溝口撰津守の存在に光を当てたもので、まったく新しい「忠臣蔵」像を打ち立てた快著である。後者は講談や浪曲で練り上げられたヒーローとしての安兵衛像を分かりやすく再現している。そこで描かれたのは情に厚く、呑んべえで、剣術の達人、ひとたが事あれば私を捨てて「義」を貫く安兵衛。ある意味、日本人の理想像だ。当時、武士たちは義に生きることを理想とし、そのためには命を捨てることも厭わなかった。「武士の一分」と言った。今の世なら、私利私欲を捨てて、公のために尽くすことなのだろうが、おいそれとできることではない。▼論文集は2千円＋税、漫画は千円＋税で、市内の高木書店で販売している。

誠忠義士傳 國芳画



# 2021新発田の美味しいお米コンテスト金賞は「(農)相馬」に

「新発田の美味しいお米コンテスト」(主催/新発田市、新発田市食料・農業振興協議会)の最終審査会が11月10日(水)、月岡温泉・白木の湯泉慶で行われた。

同コンテストは、おいしい米づくりに取り組む生産者および生産者団体の日頃の努力を称え、同時に新発田産米のPR・消費拡大につなげるため、平成27年から開催されている。今年は90組が参加、第一次審査(整粒歩合・タンパク含有率の測定)、第二次審査(味度ヌーターでの測定)を通過した上位10組が最終審査に進んだ。

最終審査会では、月岡温泉の旅館の料理長や市内食品加工会社幹部、市内の高校生など10名が審査員となり、上位10組の炊き立てのお米(コシヒカリB)を試食し「外観・香り・味・食感・総合的」の5項目で採点した。審査員は「甲つけがたい」と感嘆ながらも「五感を頼りに点数をつけていた」。



お米コンテストの入賞者(平成3年)



台湾で米販売する二階堂市長(平成29年)

第一位の金賞は農事組合法人相馬、銀賞は「有限会社加藤農場」、銅賞は株式会社川瀬農園」が選ばれた。「農事組合法人相馬」は3回目の参加で見事金賞を受賞となった。代表理事の太田豊彦さんは、堆肥を利用した土づくりの効果が出たのではないかと、誰も気づけられていないと、連覇を目標に、今後も米づくりを頑張りたいと意欲的だった。

最終審査会に進んだ上位10組のお米は、市を挙げて取り組んでいる海外輸出の対象となっており、台湾・香港・シンガポール・ハワイ・ニューヨークで販売される予定だ。



お米コンテストの審査会(平成3年)



板山地域利用改善センター



有機栽培について語る出口社長(向かって左)

## 新発田産米のさらなるブランド化に向けて研修

11月10日(水)、板山地域利用改善センターで「無農薬米の栽培及び輸出における現状等」についての研修会が開催された。県内有数の農業生産を誇る新発田市では、米をはじめとした特産品の輸出促進に力を入れている。今回の研修のねらいは、高品質な新発田産米を生産して売り込むこと。そして新発田の知名度を上げること。その一環として、輸出事業を連携する株式会社WakaJapan(ワッカジャパン)の出口友洋社長が、自身の体験に基づき「無農薬米等」について講演した。

海外での米販売は、安心・安全・健康が肝心だ。とくに無農薬米は、「コロナ禍」であっても取扱量は増えている。「どうせ作るのだから、突き抜けた。無農薬、無施肥でやろう」と、海外の主流・玄米食文化の背景も踏まえ、胚芽が通常の3倍に突然変異した「カミアカリ」という米を自社で栽培し、5年目を迎えた。スタート

その内、自社と全国からの仕入れで45t程度が無農薬米である。日本全国での無農薬栽培は、0.2%程度で伸びしろも大きく、今後の確かな手ごたえも感じている。海外からの引き合いも強く、今後は仕入れや生産を厚くしていきたい。

出口社長は、欧米で販売しやすいお米として、新発田での有機米栽培にも熱い視線を向けているのだ。

現在、ワッカ・ジャパンでは、1年間に約1,500tのお米を海外に輸出しており、

<p>職塚税務会計事務所 新発田市大栄町 7-1-6 TEL.0254-23-2222</p> <p>飯豊電設工業(株) 新発田市豊町 2-18-5 TEL.0254-24-2134</p> <p>(株)伊藤組 新発田市島湯 1273-1 TEL.0254-22-4176</p> <p>(株)イノウエ 新発田市新栄町 1-3-2 TEL.0254-22-4056</p> <p>(株)岩村組 新発田市大手町 4-3-21 TEL.0254-20-5550</p> <p>SODデザイン 高橋智志 新発田市緑町 2-17-26 TEL.0254-24-5121</p> <p>小野寺税務会計事務所 新発田市大栄町 2-7-7 TEL.0254-23-3497</p> <p>(株)下越道路 新発田市新富町 1-1-5 TEL.0254-23-2296</p> <p>(有)クサカベモーターズ 新発田市五十公野 4836 TEL.0254-22-6311</p> <p>(株)こじまホールディングス 新発田市中央町 3-5-12 TEL.0254-26-3381</p> <p>小林税務会計事務所 新発田市中央町 5-4-27 TEL.0254-22-2705</p> <p>小柳産業(株) 新発田市八幡新田 416 TEL.0254-22-7010</p>	<p>茨木建設(株) 新発田市長畑 284-1 TEL.0254-23-6851</p> <p>新発田ニュープラザホテル 新発田市諏訪町 1-9-29 TEL.0254-26-3131</p> <p>新発田建設(株) 新発田市富塚 1942 TEL.0254-27-5711</p> <p>しばたパッカーズ(株) 新発田市奥山神保 427 TEL.0254-22-2334</p> <p>島津印刷(株) 新発田市富塚 1419 TEL.0254-27-2101</p> <p>(株)新和組 新発田市米倉 1287 TEL.0254-28-5011</p> <p>大進電業(株) 新発田市佐々木 1895-9 TEL.0254-21-5000</p> <p>(株)大通 新発田市舟入町 1-12-5 TEL.0254-26-1191</p> <p>フジマ舗道(株) 新発田市島湯 4197-3 TEL.0254-26-5030</p> <p>扶桑畜産(有) 新発田市米倉字高越 4666-1 TEL.0254-28-5136</p> <p>山田建設(株) 新発田市大友 3856 TEL.0254-25-0700</p> <p>(株)安田組 新発田市豊町 4-3-39 TEL.0254-24-1761</p>	<p>介護老人福祉施設 陽だまり苑 新発田市岡田 1746-1 TEL.0254-20-3800</p> <p>複合型福祉施設 コンフィ陽だまり苑 新発田市諏訪町1-10-38 TEL.0254-24-1111</p> <p>(株)オオヌマ 新発田市五十公野 3969 TEL.0254-22-2223</p> <p>(有)アミックス 新発田市緑町 2-6-45-7 号棟 TEL.0254-20-7841</p>
<p>かして 旬を 割烹 志まや 新発田市御幸町1丁目1-1 ☎(0254)22-2102(代)</p>		
<p>四季折々の美味 割烹旅館 多奈可や 新発田市稲荷岡 2066 ☎0254-41-2013</p>		
<p>堀部安兵衛ファン待望の出版 // A4・オールカラー・84頁 <b>武庸会百周年記念誌</b> 新発田人なら一家に一冊</p> <p>◆堀部安兵衛略伝 ◆堀部安兵衛武庸家系図 ◆堀部安兵衛の家紋 ◆武庸会百年の歩み ◆中山家と長徳寺 ◆義士堂の木像とその由来 ◆義士堂の天井画 ◆芸能にみる安兵衛と忠臣蔵 ◆元禄赤穂事件 ◆安兵衛観光マップ ◆安兵衛文庫 ◆堀部安兵衛資料など</p> <p>頒布所: 新発田市観光協会 新発田市諏訪町 1-2-11 TEL.0254(26)6789</p> <p>頒布価 1000円</p>		



# 感染症の収束後を見すえた 観光等の経済復興に向けて

11月22日(月)の告示日を皮切りに、新発田市議会12月定例会が開催された。12月2日(木)・12月3日(金)の一般質問には前回同様14人が質問に立った。14人のうち3人が新人議員、女性議員は3人だった。感染症関連の質問はこのところ落ち着きを見せていることもあってか、前々回は6人、前回は3人、今回4人と推移している。今回は懸案の「大倉喜八郎別邸蔵春閣の付帯設備と利活用・門前町構想について」、関連して感染症収束後を見すえた「観光ガイドの活用について」、やや減速気味の「子育て支援実施状況について」の質問と答弁を要約して掲載する。



蔵春閣2階広間

**蔵春閣の収支バランスは  
利用料金設定の際に精査する**  
【水野善栄議員の質問】  
昨年12月議会で新発田まち遺産の会から「市民との協働による検討を求める請願書」、大倉喜八郎の会から「付帯設備への早期着手」の一体的な利活用の早期実施に向けた陳情書が提出され、議会はどちらも賛成多数で採択。その後本年9月に大倉喜八郎の会からほぼ同内容の陳情書が提出された。これは全く見えてこない状況へのいら立ちも感じる。また、先日は蔵春閣移築場所の道路を挟んだ酒造会社で物産館施設の起工式が行われた。新発田歴史文化プロジェクトの「越後新発田門前町プロジェクト」の一環である。官からの目立った事業進展がない中、民間によるプロジェクトが始動した。以下質問する。

- ① 蔵春閣の利活用について、市民との対話や計画の策定についての考え方は。
- ② 蔵春閣の収支バランスはどのように検討想定するか。
- ③ 蔵春閣移築に伴う経済波及効果は。
- ④ 付帯設備工事は防災防犯等の必要不可欠なものに限るべきではないか。
- ⑤ 最低限どのような設備があれば公開できるのか。
- ⑥ 「濯纏亭」の復元もお願いしたい。
- ⑦ 「越後新発田門前町プロジェクト」にどのような対応、取組、支援を行っていくのか。

- ① 今後も説明会を開催し、蔵春閣の利活用についての意見を頂いた上で「蔵春閣利活用基本計画」を策定する。
- ② 運営の収支バランスや誘客の見込みについては、社会情勢が大きく左右されることから今は言えない。令和4年度中に予定している利用料金設定の際に精査する。
- ③ 現時点で正確な検証は困難、想定を行うことはできない。経済を立て直しに向けて関係各所と連携して積極的に取り組んでいく。
- ④ 必要最小限の設備に留めて整備したい。
- ⑤ 「蔵春閣保存活用計画」で定めた通り、想定施設全てが必要となる。
- ⑥ 可能性を検討してみたい。
- ⑦ これまで月岡温泉から市街地へ充分な送客が出来ないことが課題だった。「越後新発田門前町プロジェクト」推進は観光誘客につながるチャンスとして、市街地の賑わいづくりや経済効果を生み出す絶好の機会と捉えている。今後、関係機関・団体と緊密な連携を図り、さまざまな限り支援してみたい。

- 田前町プロジェクト**推進は観光誘客につながるチャンスとして、市街地の賑わいづくりや経済効果を生み出す絶好の機会と捉えている。今後、関係機関・団体と緊密な連携を図り、さまざまな限り支援してみたい。
- 観光ガイドボランティアには  
スキル向上の取組を支援したい**  
【板倉久徳議員の質問】  
新発田市には多くの歴史的観光資源がある。ボランティア団体の観光ガイドによって新発田城はじめ観光客に新発田の歴史・魅力を発信してきた。今後も大きな役割を果たすと考え、以下質問する。
- ① 観光ボランティア設置の経緯は。
  - ② 今後の活用計画は。
  - ③ 観光ボランティアに堀部安兵衛等の法被を着用して欲しい。
  - ④ 今後の活用計画は。
- 二階堂馨市長の答弁**  
平成16年に45名で活動を開始した。観光振興基本計画で育成と多言語対応を掲げている。各種研修会・学習会などが必要と考えている。スキル向上の取組を支援していきたい。
- 大変良いアイデアだ。市観光協会を通じて観光ガイドボランティア協会との協力を担当課に指した。**
- 子育てするならやっぱり新発田の看板に恥じない取組を続けている**  
【五十嵐良一議員の質問】  
子育てするなら新発田と市長は話している。子育て中の市民はもう一人、これから新発田に移住・定住を希望する人にとっても感じてもらいたく、「新発田まちづくり基本計画」の基本方針に基づいた施策を実施して行かなくてはならない。以下の点を伺う。
- ① 専門家の子育て相談会の実施状況は。
  - ② 親同士の交流の機会へのこと。
  - ③ 乳幼児が登園中に病気やけがをした際の医療機関への相談および連携は。
  - ④ 保育園等およびイクネスはたでの暴漢対応について。
- 二階堂馨市長の答弁**  
① かりつけ保健師を中心とした継続的な相談体制を整えている。  
② 健康推進課で出産前からの保護者交流を目的としたすこやかマタニティ教室を開催。公立保育園に併設して「地域子育て支援センター」を5カ所開設。私立園を含めた保育園・認定こども園で月2回、園開放交流事業を実施。保護者同士の交流の機会づくりに取り組んでいる。「子育てするならやっぱり新発田」の看板に恥じない取組を続けている。自負している。  
③ 園児のかりつけ医や嘱託医に相談し、指示があれば医療機関に連れて行く。  
④ 緊急時の素早い対応や警備員の緊急体制を整えている。
- 議長解任決議案提出も  
反対多数で否決**  
今議会で、小柳はじめ議員から、若月学議長による「質問封じ」があったとして議長解任決議案が提出されたが、賛成少数で否決された。  
議長解任決議案は小柳議員による一般質問の「統一教育委員会の事なかれ主義と組織の問題」との要旨の質問に対する議長への対応に異を唱えたものである。  
議長への質問原稿提出後、質問の改変が求められ、文言の訂正が行われた。本会議前に開催された正副会長会議で議長は「質問を止めるものではない」と明言したものの、続けて開かれた議会運営委員会で「議長の品位を落としてほならない」との留意事項が示された経緯がある。  
結果として、議会全体としては議長の手続に多少行き過ぎた面もあったかもしれないが、解任決議案を行うほどでは言えないとの判断だった。

年末年始の営業案内

【新発田店・松崎店】  
12/31(金)  
9時～16時営業  
休み  
1/1(祝)～1/5(水)  
1/6(木)～  
営業開始

お正月の準備は  
とんとんとん  
にお任せ！

しめ縄  
切り花

TON TON

●新発田店 9:00～18:00  
新発田市荒町1480  
☎0254-20-2229  
●松崎店 9:00～19:00  
新潟市東区新松崎1-6-14  
☎025-274-2229

堀部安兵衛

生誕350年記念出版

もりいくすお漫画  
『熱血 堀部安兵衛物語』  
A4・36頁 1,000円+税

富澤信明論文集  
『実録 堀部安兵衛』  
A5・360頁 2,000円+税  
一系図から読み解く忠臣蔵一

新発見満載！

発売所  
高木書店  
〒957-0052  
新発田市大手町 1-2-13  
☎0254(22)3241  
新発田市観光協会  
〒957-0055  
新発田市諏訪町 1-2-11  
☎0254(26)6789



# 陽だまり苑 ふえりあ

2022年3月1日 オープン

オープニング  
スタッフ募集

介護の魅力発見！  
うちにおいでよ

仕事は楽しいですか？

はいっ！

- 仕事を基礎からしっかりと教えてもらえる
- 人間関係が良いので、すぐ情報をもらえて仕事がしやすい
- みんなが協力してくれて、安心して仕事ができる
- みんなで作った成長シートでステップアップできる
- 私の夢を応援してもらえる

掃除、洗濯、宿直をしてくださる方も募集！勤務可能な時間をお教えてください

「ちょっと話し聞きたい！」とお気軽にお電話ください  
0254-23-1117

ポケットパーク

令和3年度 冬季通常展  
2022 115土 3 27日

## 明治維新と新発田藩

嘉永6年(1833)、ペリー率いるアメリカ東インド艦隊の艦船4隻の来航が、江戸時代の幕引きを告げました。新発田の湾にも異国船が現れるようになり、新発田藩が警備にあっています。

その後大政奉還・戊辰戦争を経て明治4年(1871)廃藩置県が行われ、新発田藩は新発田県となります。この新しい時代と出会う18年間の新発田藩の姿を、現存する資料から多角的な視点で解説します。ぜひご覧ください

新発田藩 歴史講演会  
新発田立歴史博物館 専門研究員 西田泰民氏  
「武器商人スネル関係文書を読む」  
令和4年2月5日(土)13:30~15:00  
新発田市立歴史図書館 2階会議室 ※終了予定

- 定員 50人(要事前申込)
- 参加費 無料
- 申込期間 令和4年1月15日(土)~2月4日(金)
- 申込方法 歴史図書館へ直接お電話、または事務室まで

新発田市立歴史図書館  
新発田市中央町4-11-27 ☎0254-24-2100



初雪で里の田んぼに歓声が響く。

## 光と風の詩

うた  
生誕100年記念 — 四季の彩【冬・春編】 —  
はり絵画家 内田正泰 展

後期: 2021年10/30(土)~2022年1/23(日)  
展示入れ替え休館: 10/25(月)~10/29(金)

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌火曜休館)  
年末年始 12/29(火)~2022年1月3日(月)

開館: 午前9時~午後5時(入館受付: 午後4時30分まで)

会場: 落谷虹児記念館 1階

入館料: 一般・大学生510円(団体20名様以上410円)  
高校生210円・小・中学生110円

主催: 新発田市、新発田市教育委員会、落谷虹児記念館

### 落谷虹児記念館

〒957-0053 新発田市中央町4-11-7  
電話 & FAX 0254-23-1013 (代表)

内田正泰画「初雪」  
©Uchida Masayasu